

「第6回蓄電池産業戦略推進会議」

定置用蓄電池 強化に向けた
電池工業会の取組

2026年3月5日

一般社団法人 電池工業会

国内基盤拡充のための政策パッケージ

(JEMAとの連携によるセル・システム一体での競争力の強化検討 等)

重要インフラにおいて JEMAとの連携検討が可能と考える事項について協議開始 (25年11月～)

活動 内容

- ・ 定置用蓄電池は 日本の電力市場で重要インフラになる為、又 火災等への安全確保やシステムの経済安全保障上の課題へ対応の為 安全性・信頼性が高い電池導入が望ましい
- ・ JEMA/BAJ間で下記項目について協議開始

進捗 状況

① JEMAとの連携：個別MTG および WGへ参画

	24年末迄	25年	26年
個別MTG	計3回 ●	11月 ● 12月 ●	1月 ●
WG参画	↳ ・23年度～JEMA 電力システム用蓄電システムWGへ参画中		

② BAJ/JEMA間で今後検討すべき内容

検討項目	BAJ推進（案）、JEMAへの共有内容について
1 サイバーセキュリティ強化	・ <u>システム用蓄電池(特に重要なインフラ)として、JC-STAR★2以上の取得促進</u>
2 重大事故への課題共有	・ <u>伊佐市蓄電池火災事案を踏まえた規制強化（原因究明・対策書類提出等）</u> ※秋田風力発電も同様の課題
3 重要インフラへの課題共有	・ エネルギー安全保障／サプライチェーンリスクの為、 <u>重要インフラに対するESS導入補助金の応札要件強化</u> ・ <u>レジリエンス強化の為、電池セル等の国内一定数配備（国内生産や国内保管）</u>

グローバルアライアンスとグローバルスタンダードの戦略的形成 (IEC規格化の推進)

- ・産業用LIBカーボン排出量計算 (IEC 63369-1) は FY25に国際規格化を完了
- ・ESS^{*1} 用LIB安全 (IEC63056) は用途別 (系統/家庭) に国際標準化を推進

- 活動内容**
- ・IEC規格化については順調に推移
 - ・安全性・性能に関する技術的特性を適切に反映したLIB国際基準作りを推進
- 進捗状況**
- ・今後さらに**系統用と家庭用のESS安全性**について規格成立を推進強化
- 【SC21A/LIB プロジェクト】** ※SC21A : LIBを中心とする二次電池 (鉛電池除く) の国際規格を扱う委員会

プロジェクト/会議	FY 2024	FY 2025	FY 2026	FY 2027	FY 2028
民生用LIB 安全	改訂 IEC 62133-2	CDV	FDIS	IS	
LMT用LIB ^{*2} 安全	新規 NP	IEC 63623-1		CDV	FDIS IS
産業用LIB 性能	改訂 IEC 62620		CDV	FDIS	IS
環境規格 カーボン排出量 LIB	CD IEC 63369-1	FDIS	IS	IEC 63369-2	CDV FDIS
系統ESS用LIB安全		改訂 IEC 63056-1		CDV	FDIS IS
家庭ESS用LIB安全			改訂 IEC 63056-2	CDV	FDIS IS

*1 : ESS : Energy Storage System(電気エネルギー貯蔵システム) *2 LMT :Light Means of Transport(電動アシスト自転車、電動キックボード等)

【ステップ】 NP:新提案、CD:委員会原案、CDV:投票用委員会原案、FDIS:最終国際規格案、IS:国際規格
【投票27票内訳】 欧州 : 16、米国 : 1、中国 : 1、韓国 : 1、**日本 : 1**、他 : 7

国内市場の創出

(NITEと連携し、電池安全面・機能面に関する評価の実証)

【NITE/BAJ取組】LIBの安全性について検証を実施

蓄電池 産業戦略

日本製蓄電池は“性能・安全性”が強み
さらに安全性確保を付加価値として市場構築を推進

活動 内容

三元系、LFP系の安全性評価を検証

進捗 状況

24年度 三元系セル、25年度 LFP系セルを評価

実施年度	評価対象	①類焼試験 JIS C8715-2	②水素ガス量 JIS C 4441
24年度	三元系 ※海外製セル搭載	・全28セル：連鎖熱暴走 ・発煙/筐体外への開裂無 (温度：約500℃以上)	・濃度87.1% ※爆発限界上限4%
		判定：○	判定：× (爆発)
25年度	LFP系 ※海外製セル搭載	・4/8セル連鎖熱暴走確認 ・発煙/発火を確認。筐体 が激しく損傷。約600℃ ※筐体付近約1,500℃近くを推察	・採取済(1/28) ・分析中(3/E)
		判定：× (発火)	判定：評価中

方向性

今回の結果を
踏まえて、NITE
安全ガイドライン
への反映を推進

結果 LFPでも発火リスクが有る事が示された

人材育成・確保の強化

関西蓄電池人材等コンソーシアム から BATON（全国）での活動に向けて

産官学間で連携 蓄電池人材育成活動を推進

活動内容

- ・産官学間で連携 BAJは 高校・高専向け教材作成/普及強化を推進
- ・関西コンソに追加して BATON発足に併せてBATON事務局として参画

進捗状況

- ・過去作成したSTEP1/STEP2教材に対し、25年度はSTEP2教材の内容充実化の為、教育用語集を作成（2月末完成、約200ワード）
- ・バッテリー教育実施校 23年度末:14校 →26年2月末時点:41校へ拡大

	No.	分野	内容
■STEP1教材 (動画+全4章) *約100ページ 23年度作成	動画	共通	Welcome to the Battery World
	座学 1~4章	25年度 教育用語集 作成 約200ワード	今、電池について学ぶ理由 等
■STEP2教材 (12パート) *約500ページ 24年度作成	座学 1~3	共通	リサイクル 等
	座学 4~7	化学・物質(材料)	LIB正負極反応 等
	座学 8~9	機械	材料強度 等
	座学 10~12	電気・制御	安全性 等

- ・大阪・関西万博/経済産業省こどもデーに対し、電池エネルギー体験教室等教育支援
- ・BASCと連携し BATONでの活動を推進

今後取組